今和3年度 六ヶ所村立第一中学校 学校だより



令和3年9月10日(金)発行 第11号 文責 藤川 俊彦

内田心温さん(3年)に学ぶ「SDGs」のあり方

北地区中学校英語弁論大会創作の部で3年内田心温さんが発表した 「Am I Impacting the World?」(訳:私は世界に影響を 与えていますか?)の内容がとても素晴らしかったので みなさんに紹介したいと思います。(右側の原稿参照)

9年後の2030年に向けて世界が合意した17の「持続可能な開発目標」 である SDGsですが、2015年から6年経った現在、どれだけ SDG 達成できているでしょうか?日本を含む世界の先進国と呼ば れている国でさえ、全てが達成できている所はないでしょう。

しかし、心温さんが訴えているように、自分で自分の限界を決めず、学び というアップデートをし続ける事が大事だと私も思っています。たとえ全て を達成できなかったとしても、この17の項目を意識し、自分にできることは何 かを考え、日々の生活で実践を積み重ねる事は大切なことでしょう。

12月3日(金)の第3回保護者参観日で、ハ戸市から講師の先生を招き、 「SDGs」に関する親子研修会を計画しています。当日はカード ゲーム形式で学ぶ予定です。詳細は今後みなさんにお知らせ

いたします。みんなで「SDGs」について楽しみながら考える機会にしましょう。



Am I Impacting the World? 私は世界に影響を与えていますか?

Uchida Koharu (3rd year) 内田心温 (3年) Rokkasho Daiichi J.H.S. 六ケ所第一中学校

Are you aware of the SDGs in your daily life? I've been hearing that phrase a lot lately. SDGs are Sustainable あなたたちは普段、3Ksを意識して生活していますか? 私は最近、その言葉をよく耳にする。 SDGs とは、持続可能な開発目標 Development Goals. These are the 17 common global goals for 2030 that were decided at the UN Summit in 2015. これは2015年に関連サミットで決められた、2030年に向けた世界共通の17個のゴールだ。 This was also covered in my English and social studies classes. I learned that the world is suffering from conflicts, それは、英語の授業や社会の授業でも取り上げられ、紛争や食糧危機など、世界は私が思っている以上に多くの人が food crises, and other problems that affect more people than I thought. I was shocked. Throughout the class, I was able to 苦しんでいることが分かった。私は衝撃的だった。また、授業を通して、現状や課題について考え、友達とそれを think about the current situation and issues and share them with my friends. Which made me realize that I am usually not シェアすることで、自分が美限まったくそれについて意識していないことに気づいた。 aware of them at all. So, I wondered what I could do to help.

そこで私には何ができるのだろうと考えた。

As I researched about the SDGs, I learned about the efforts of a musical instrument manufacturer. "The School Project" SDGsについて調べていくうちに、ある楽器メーカーの取り組みを知った。 「スクールプロジェクト」 brings the joy of playing a musical instrument to children in developing countries who have never been exposed to them. この取り組みは楽器に触れたことがない発展途上国の子供たちに、楽器演奏の楽しさを提供するプロジェクトだ。 Through that, they aim to "realize a rich life and comfortable society for people around the world through music." This is in それを通して、「世界の人々の音楽を通じた心豊かな生活と快適な社会の実現。」を目指している。 line with the fourth SDG goal: Quality Education for All, the sixteenth goal: Peace, Justice and strong Institutions, and the それは、SDGsの4番目のゴール「質の高い教育をみんなに」や、16番目のゴール「平和と公正をすべての人に」、 seventeenth goal: Partnerships for the Goals. Through the School Project they "hope that the experience of playing a 17番目のゴール「パートナーシップで目標を達成しよう」などに通じる。「楽器の演奏を体験することで、子供たち musical instrument will make children happy and give them hope for the future." One child who picked up an instrument が幸せを感じ、将来に希望を持ってほしい」という思いが込められている。 初めて楽器を手にした子供たちは、「音楽の授業 for the first time said, "Music class has made school fun." I saw pictures of them happily learning on the internet, and felt のおかげて、学校が楽しくなった。」と話している。私はインターネットで、楽しそうに学ぶ彼らの写真を見て、この会社が、 that this company was striving for a better future, aiming high. よりよい未来に向けて、高みを目指し、努力しているのだと感じた。

I remembered what my piano teacher once told me when half-hearted results in piano competitions were the norm, 以前、ピアノのコンクールで、中途半端な結果が、私の中で当たり前になっていた頃、私のピアノの先生が言ったのを "Only one third of the effort will be exerted. So you have to work three times as hard as you think you should." I am in a 思い出した。「努力は3分の!しか発揮されない。だから自分が思う3倍は努力をしなければならない。」 very blessed environment. Am I working hard enough now to say that I have made an effort? 事まれた環境にいる。 今の自分は努力したと言えるほど、頑張っているのだろうか?

In 2030, I'll be 24. I can't imagine what I'll be doing at that time. However, I would like to work in a way that can make 2030年、私は24歳になっている。 自分がどこで何をしているのかなんて想像はつかない。けれど、たくさんの人を many people happy. Don't set your own limits. I think keeping up with everything is the way to achieve my goals and what 笑顔にさせられるような仕事をしていたいと思う。自分で自分の限界を決めてはいけない。何に対しても、アップデートし続ける I need to do now. And if each and every one of us, regardless of nationality, race, gender, or religion, could work hard and ことが、目標達成への道であり、今の私に必要なことだと思った。そして国籍、人種、性別、宗教に関係なく、一人一人が未来の join hands for the future, the world would surely be better for it. ために努力をし、手を取り合うことができたら、世界はきっと笑顔であふれているだろう。

歯・口の健康生徒コンクール優秀者 新体力テスト優秀者(A判定)

〇歯・口の健康生徒コンクール

優秀賞:小向元陽(2年)

努力賞:木村彪大朗、松山煌飛、金濱加依、木村紗(以上 | 年)

、菊地ここね、髙橋のの花(以上2年)

秋元哲太、小泉慎之介、内田心温、米田美涼(以上3年)

〇新体力テスト (A判定)

金濱加依、吉本花 (以上 | 年)、小向元陽、

、大竹歩実、菊地ここね

、野沢柚(以上3年)

木村あおい、 、萩生咲絢、本間星南、山田莉穂(以上2年)

太田光洋、佐藤駿太朗、中嶋拳星、



(60)

0





「無(な)くて七癖(ななくせ)」ということわざがあります。「あまり癖(くせ) がないと思われる人でも、よく見ると七つほど、さまざまな 癖がある。人にはそれぞれ癖があって当たり前だから、 あまり気にすることはない」という意味のようです。

いましたが、真剣に話せば話すほど癖が出てしまうのです。

先般 | 年生の教室に行った際、過去の学級日誌が 壁に貼ってあり、日直さんが毎時間ごとにその授業で心の残った一言や内 容を書いています。なかなか面白い取り組みだなと思って読み進めると、8月 24日(火)始業式の日にたどり着きました。「1校時:始業式:心に残ったー 言『ですね』」と書かれていました。あちゃぁ~また、癖が出ているYO~。

生徒指導を担当していた時に、全校生徒の前で話す機会がよくあり、私の 話し方を真似したり、『~ですね』の言った数を数える生徒がいて、集会が終 わった後教室で「今日はOO回だったね!」という話で盛り上がっていたと か・・・。静かに話を聞いてくれていたのは、頭の中で回数を 数えていたからなのね?・・・。その後は気を付けて話して

私の話から『ですね』が出たら「真剣に話しているんだ」と思って聞いてく れれば嬉しいです。飽きたり眠そうな時は『ですね回数』を数えて乗り切れ!!





8 働きがいも 経済成長も







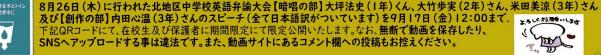


10 人や国の不平等 をなくそう





























大坪くんのスピーチ

よろしくお雨板いします





(O)

















